

日本学士院賞

河西氏ら9人

日本学士院（井村裕夫院長）は14日、新年度の日本学士院賞を9人に贈ると決めた。大脳シナプスの形態を研究した河西春郎・東京大学教授（65）には恩賜賞も授与する。このほか、自然保護の基礎となる業績に対して隔年で贈る日本学士院エジンバラ公賞には大河内直彦・海洋研究開発機構海洋機能利用部門長（55）を選んだ。受賞者と業績は次の通り。



【恩賜賞・日本学士院賞】
河西春郎（かさい・はるお）東
京大教授（65）

大脳の神経細胞間の接合部「スパインシナプス」が、学習に伴って形態や機能を変え、ことや脳機能との関係を解明

【日本学士院賞】
武田晴人（たけだ・はるひと）



東京大名誉教授（72）
戦前の三大財閥が調達した資金の流れを明らかにし、近代日本の経済・経営史の研究に貢献



化学研究所主任研究員（60）
有機金属化学の新たなアアースの特異な構造や性質を解明し、それらを使った新たな合成技術を開発



東京大教授（50）
物性物理学で電子が自転することで生まれる磁石の性質「スピン」を研究し、基礎的な現象を次々と発見して分野を先導した



東京大教授（58）
地球物理学・気候学・地球惑星科学で気候と水床のモデルを用いて、10万年周期の氷期間氷期サイクルの再現に成功



国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所長（68）
計算論的神経科学でロボットと神経科学を統合し、考えただけで機械を制御す



京大教授（61）
光子工学で屈折率が違う2種の素材を光の波長ごとに研究し、半導体レーザー高度化への道を開拓



京大理事・副学長（65）
農業農村工学・地盤工学で過去の地盤変形の記録から、精度の高い地盤変形の予測法を確立し、ダム崩壊などを予測可能に



北海道大教授（64）
医学・理工学でがんの放射線治療で、呼吸などで動く臓器にできたがんにも正確にX線や粒子線などを集中させられる技術を開発



学士院エジンバラ公賞
大河内直彦（おおこうち・なおひこ）
海洋研究開発機構海洋機能利用部門長（55）
地球科学で天然物中



にある特定の化合物を精密に測定する技術を開発させ、生物界の変動を解析